



《学校教育目標》

「育成を目指す資質能力」

- やり通す「粘り強さ」
- 協力する「協働する力」
- 前進する「創造する力」

啓北中四本柱

- ・挨拶励行 ・環境美化
- ・私語撲滅 ・時間厳守



苫小牧市立啓北中学校 学校通信 令和7年9月30日発行

啓北中「6つの行動指針」 すべての教育活動を この考えのもと推進していきます。

- 01 **学ぼう** (子どもも教師も学ぼう)
- 02 **育てよう** (未来を生き抜く子どもに必要な資質・能力を育てよう)
- 03 **楽しもう** (子どもも教師も楽しもう)
- 04 **聞こう** (意見や悩み事など、子どもの声に耳を傾けよう)
- 05 **寄り添おう** (相手の立場になって考えよう)
- 06 **つながろう** (子ども同士をつなぐとともに、地域に、社会につなげよう)

心が自分を越えたときに感動する

生徒の歌声に心が震えました。

9月19日に開催した第64回学校祭の「合唱コンクール」。凜とした空気感が漂う中、各学級がそれぞれの思いを乗せて、体育館中に歌声を響き渡らせました。

なぜ感動するのか・・・それは、ハーモニーの素晴らしさもさることながら、生徒一人一人の真剣な表情、この舞台に立つまでの様々な過程(2・3年生は1年前の姿までも脳裏に浮かびました)、そして、生徒らの熱い思い、担任の温かい眼差し、そのすべてが私の心を越えていきました。

感動する心は、「生きる力」であり、「生きている」ということを実感する大切なものです。

「楽しむ力」は最強の武器

学校祭は、生徒会のオープニングセレモニーに始まり、3年生のステージ発表、合唱コンクール、美術部の作品展示、生徒会有志企画、閉祭式、そのどれもが完成度が高く、学級や学年の個性が出ていました。ただ、その発表はもちろん素晴らしかったのですが、私が何よりうれしく思ったのは、学校祭を楽しんでいる生徒の姿です。楽しみ方や感じ方は人それぞれです。「僕は〇〇が楽しかった」など、みんなちがってみんないい！

楽しむ力は、人生を豊かにする「最強の武器」です。

この学校祭を通じ、私は、啓北中学校で働いていてよかった、もっと言うと「この啓北で生きている」そう感じることができました。そして、私も一緒に楽しむことができ、私の人生を豊かにしてくれました。保護者の皆様も感動し、楽しむことができたのであれば、これ以上の幸せはありません。

感動と幸せを届けてくれた生徒らに感謝します。そして、そんな感動を届けてくれる人に育てていらっしゃる保護者の皆様に敬意を表し、感謝いたします。ありがとうございます。

これからも、啓北中は、生徒とともに感動し、楽しみ、成長していきます。

最後に、この学校祭で**令和8年度の新入生から着用する啓北中の新制服**を披露いたしました。「生徒による生徒の制服づくり」の取組では、カンコー学生服さんに支援していただき、生徒の力で生地選びからデザインまで、機能性、価格帯、啓北らしさなどを踏まえて完成させました。「制服検討委員会」は、昨年度の1月から活動し、とても忙しい中、この学校祭のお披露目式(KKKコレクション)までやり抜きました。検討委員会のメンバーに改めて感謝いたします。自慢の制服です！



苫小牧市立啓北中学校長 遠藤佳伸